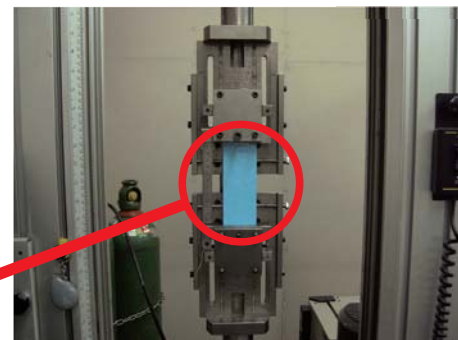
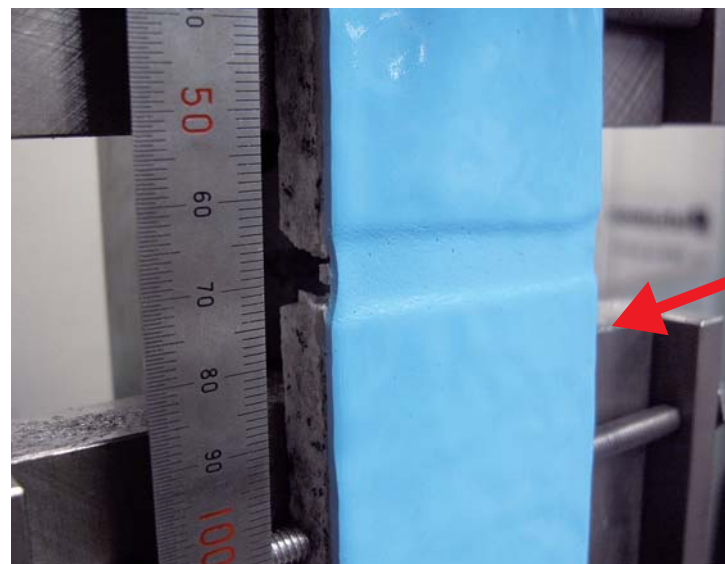


ひび割れ追従性

旧住宅都市整備公団試験方法 (KMK法)



物理試験機：インストロン社製

試験方法：KMK法	
クラック追従幅	5mm以上

工 程



施工前



高圧水洗



プライマー兼
素地調整材塗布



被覆層形成



施工後洗浄



環境対応型ポリウレタ樹脂上水ライニングシステム
レジテクトBT-JW工法



株式会社 **タイフレックス**

レジテクトBN本部

〒163-0823 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル23F 私書箱6086号

TEL 03-5381-0666 (代) FAX 03-5381-0670

営業所 / 札幌・中部・大阪

技術研究所 / 千葉

工場 / 茨城

(09.5月現在)
09.05.2,000 DFC

株式会社 **タイフレックス**

環境対応型下地調整材と 超速硬化ポリウレアスプレー技術が上水施設に 高い防水機能・安心・安全・コンクリート長寿命化を実現

〔(社)日本水道協会 JWVA K 143 2004 コンクリート内面樹脂塗料塗装方法 適合〕

インフラストラクチャー整備として各種水処理施設の整備が行われてきましたが、近年それら構造物の耐久性に対する問題が発生しています。

上水施設配水池等のライニング材の要求性能は、飲料水に有害な物質が浸出せず安心・安全であること、地震等から大切な飲料水を守る高い防水性能、次亜塩素酸ソーダ、ポリ塩化アルミニウム等に対する耐薬品性、長期にわたる接着性・耐久性です。特に安全面は、今までの一般的なエポキシ樹脂(ビスフェノールA)が環境ホルモンに該当する恐れのある物質として世間に公表されました。

当社ではこのような問題を解決するために、環境ホルモンに該当しない下地調整材とポリウレアスプレー技術を組み合わせた「レジテクトBT-JW工法」を開発しました。ポリウレアスプレー工法とは、イソシアネートと特殊アミンの2成分を、自社開発の自動定量混合スプレー装置で施工面に吹きつけ、瞬時にポリウレア樹脂塗膜を形成する被覆防食ライニング工法です。硬化時間が14秒程度のため、壁面はもちろんのこと天井面へもだれることなく均一でシームレスな防食ライニング層が形成されます。

超速硬化のため大幅な工期短縮が図れ、上水水槽のみならずあらゆるコンクリート & 鋼構造物などの防食・防水・保護を目的とする改修工事に、画期的なライニング工法です。

特長

安全性

ポリウレア樹脂は、無溶剤、無触媒で可塑剤も含まない環境に優しい材料で水道施設に使用するための規格に適合しており飲料水用ライニング材としても安全な製品です。 ~ JWVA K 143 適合 ~

性能

防水性、ひび割れ追従性、耐衝撃性、耐摩耗性、接着性、耐薬品性に優れた被覆層です。

施工性

スプレー施工のため、様々な形状に対して均一な厚さの被覆層が形成され、さらに狭隙部への施工も可能です。

工期

スプレー施工と瞬間硬化のため、床、壁および天井面に優れた施工性を有し、施工開始から稼動までの時間が従来の工法に比べて極めて短く、大幅な工期短縮が可能です。

作業環境

瞬時に硬化することにより、気温や湿度等の外的要因に影響されにくく物性が確保できます。

機械施工

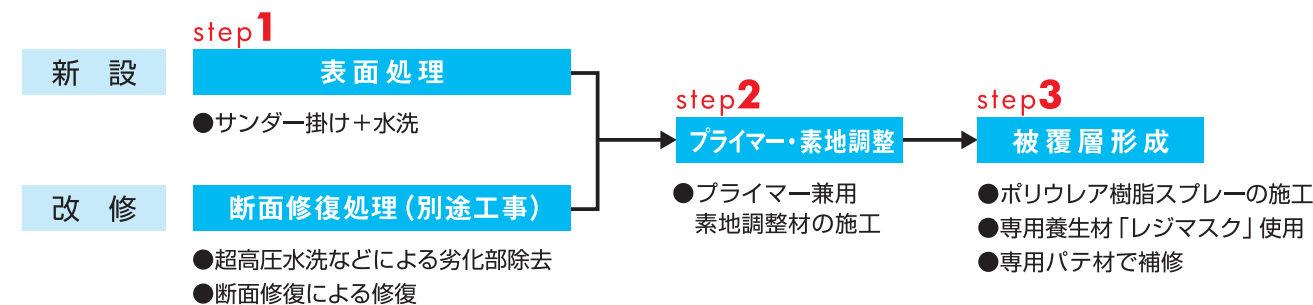
CPが搭載された当社開発の専用吹付機(TECTマシン)は、自動計量・圧送機と混合吹付け装置を用い、材料を定量的に施工面へ圧送し、スプレーガンにて瞬時にライニング膜を均一に施工します。

成膜

独自の技術により反応を制御しているため、ピンホールの発生を防ぎ、平滑な塗膜仕上がりとなり、さらに接着性と成膜性が飛躍的に向上しました。

工法

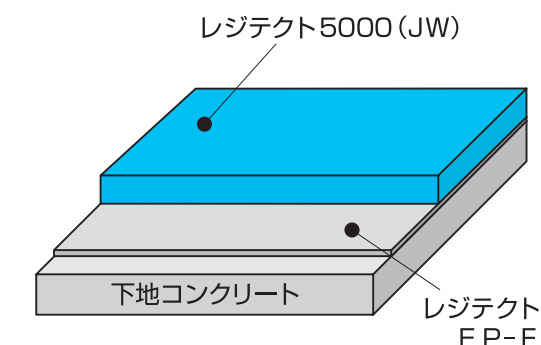
〔コンクリート構造物の標準工程〕 表面処理(新設)、断面修復処理(改修)→素地調整→被覆層形成の各工程からなります。



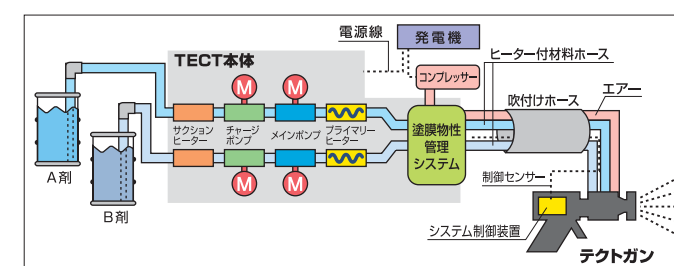
仕様

レジテクトBT-JW 工法		
工程	使用材料	使用量(㎡)
1	プライマー兼用素地調整材	レジテクトEP-F 0.6 kg
2	上塗り	レジテクト5000(JW) 2.1 kg
施工厚		1.8 mm以上(硬化後厚さ)

次亜塩素酸ソーダによる退色、紫外線による変色等ありますが、物性には影響ありません。



機械吹付システム



TECTシステムは、従来のオペレーターの目視や経験に頼っていたマシンを温度・圧力・流量のデータをフィードバックし記録するだけでなく、自己診断し制御する【塗膜物性管理システム】を内蔵。施工品質に対して大きな信頼を得ることができます。



TECT マシン



システム車